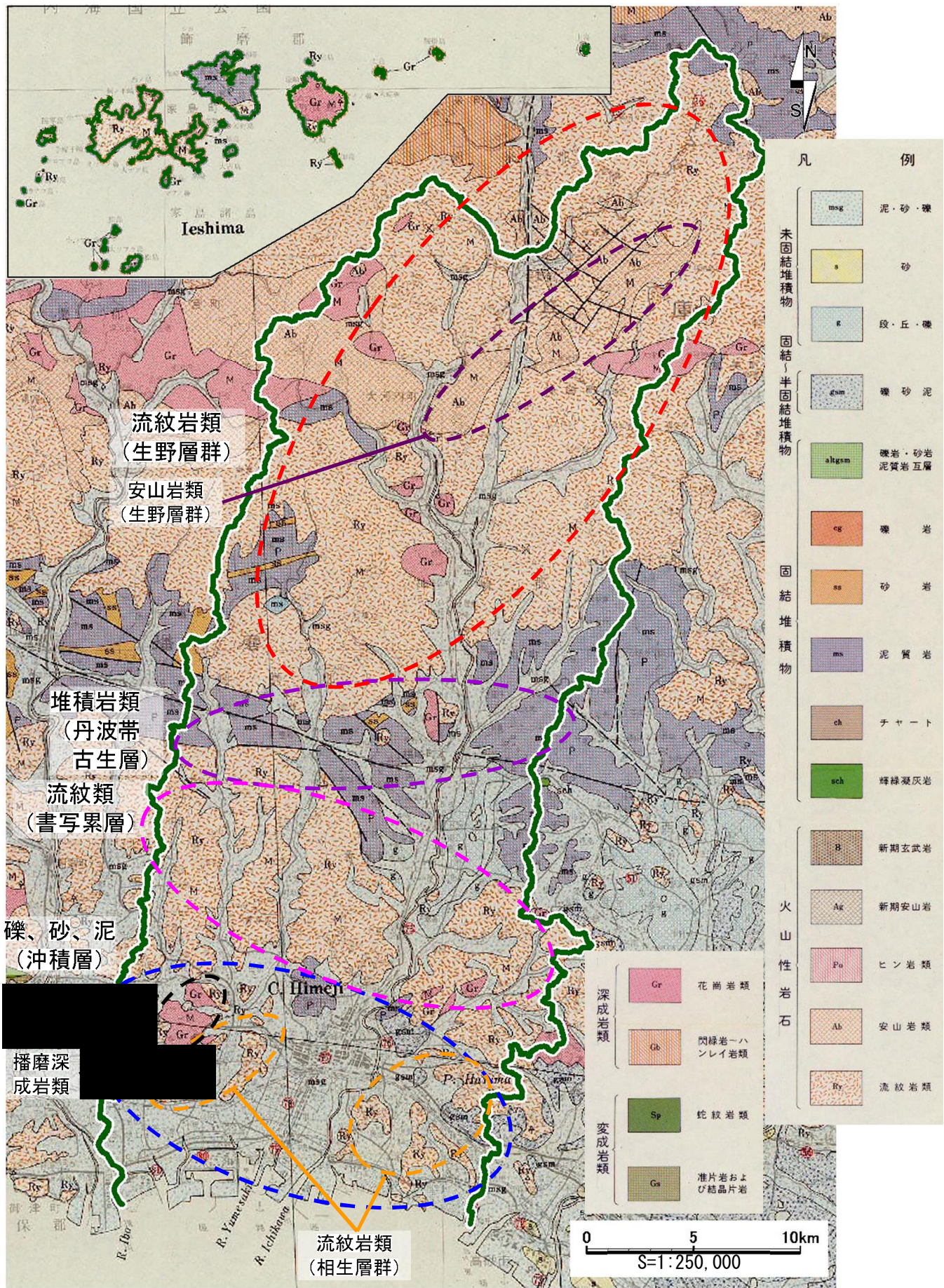


出典：20万分の1土地分類基本調査 地形分類図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）
地形図



出典：20万分の1土地分類基本調査 表層地質図 (国土交通省 国土政策局 国土情報課HP)
地質図

(C) 気候

気候は、北部山間地の内陸気候地域と、中・南部の瀬戸内海気候地域に大きく二分される。

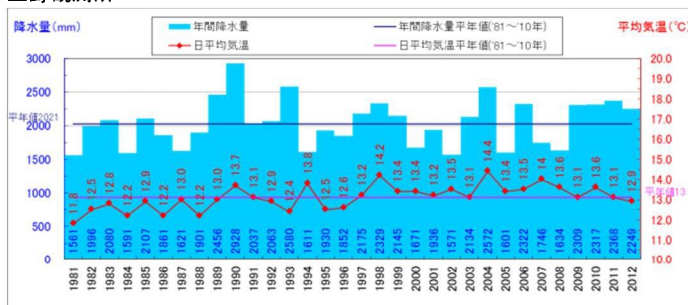
年平均気温は、計画地域北部の生野観測所で約 13.1℃（1981年～2010年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 14.8℃（1981年～2010年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 15.2℃（1981年～2010年の平年値）と、計画地域中・南部は計画地域北部に比べてやや高く温暖である。

年間降水量は、計画地域北部の生野観測所で約 2,000mm（1981年～2010年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 1,400mm（1981年～2010年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 1,200mm（1981年～2010年の平年値）と、計画地域中・南部は北部に比べて少なく、全国平均の約 1,700mm を下回っている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

計画地域北部の生野観測所において、年平均気温は約 13.1℃（1981年～2010年の平年値）、年間降水量が約 2,000mm（1981年～2010年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を上回っている。

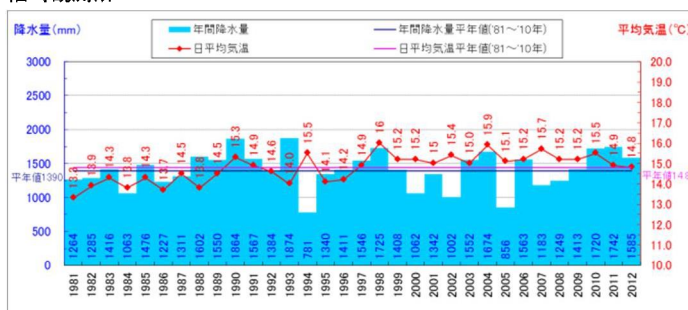
生野観測所



【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

計画地域中部の福崎観測所において、年平均気温は約 14.8℃（1981年～2010年の平年値）、年間降水量は約 1,400mm（1981年～2010年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

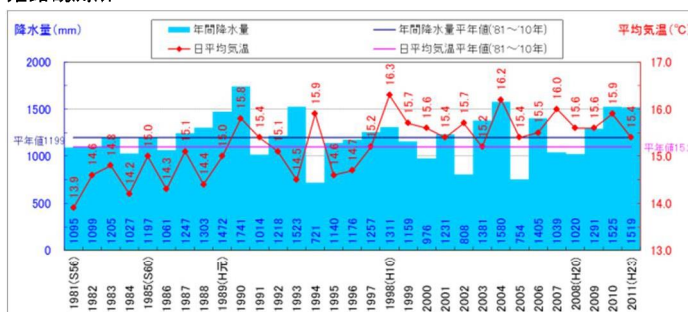
福崎観測所



【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

計画地域南部の姫路観測所において、年平均気温は約 15.2℃（1981年～2010年の平年値）、年間降水量は約 1,200mm（1981年～2010年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

姫路観測所



年間降水量・平均気温

出典：気象庁HP

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

(□) 自然環境

計画地域では、特に山地部や丘陵部に良好な自然環境が残されており、貴重な生態系が保全されている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

植生は、山地には主にスギ・ヒノキ植林地、コナラ群落広がる。また、雪彦峰山県立自然公園にはクヌギ、ナラ等の広葉樹が広がり、河畔にはエノキ・ムクノキ群集等の夏緑林、スギ・ヒノキ植林地がみられ、河道にはツルヨシ群集が広い範囲にみられる。

魚類については、自然の河床形態が残り、流れは急で、アマゴ^{*}、アユ、ウグイ等、清水を好む魚類の生息域となっている。

底生動物については、渓流域では、カゲロウ類やトビケラ類が生息する。

鳥類については、林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また、市川流域の一部が仁寿山鳥獣保護区に指定されており、オオタカ^{*}、チョウゲンボウ等の猛禽類やキジが生息している。また、水辺を利用するイワツバメ、ヤマセミ^{*}、カワガラスがみられる。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

植生は、河畔には竹林、ササ類が広がる箇所もみることができる。河道内の砂州上では広い範囲でツルヨシ群集が形成されている。また、カワヂシャ、ミゾコウジュ^{*}が確認されている。水際にはミゾソバ群落、河岸にはカナムグラ・アキノノゲシ群落やクズ群落がみられる。夢前川流域の特徴として、高水敷が整備され、芝が張られている。市川流域では、出水による攪乱で成立した「丸石河原」と呼ばれる礫河原にカワラハハコ^{*}等が生息している。

魚類については、瀬と淵のほか、堰による湛水域があり、瀬ではアユやカワヨシノボリが生息し、また淵や堰の湛水域にはシマドジョウ、コイ、フナ類が生息する。また、夢前川流域の特徴として、瀬と淵が連続し、アカザ^{*}やカジカ^{*}が生息する。

底生動物については、砂礫底にはホンサナエ^{*}等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。また、市川流域では、モクズガニ等が生息し、中流から下流のワンド・たまり等の止水域では二枚貝類等がみられる。

鳥類については、モズ、ホオジロ等が草地を採餌場として利用するほか、砂州の裸地はチドリ類が営巣場としている。また、サギ類が流水部で採餌したり、カモ類が水面で休息するなどの姿がみられる。夢前川流域の林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また猛禽類ではミサゴ^{*}、ハイタカ^{*}が確認されている。

※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2010〔植物・植物群落〕」

「兵庫県の貴重な自然〔兵庫県版レッドデータブック 2012〔昆虫類〕」

「兵庫県の貴重な自然〔兵庫県版レッドデータブック 2013〔鳥類〕」

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

植生は、河道内の砂州や河岸には、ツルヨシ、オギの群落が見られる。また夢前川流域では、カワヂジャ*、ミゾコウジュ*が確認されている。下流域では、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ等の外来種が広い範囲で生育している。河口には塩性湿地に特徴的なヨシ、シオクグや、アイシン*の群落が見られる。また、西浜川流域の山沿いの一部に貴重種であるノジギクが自生している。八家川流域も同様に自然海岸の小赤壁には、ウバメガシの自然林やノジギクの自生地等の貴重な自然がある。市川流域の下流には中洲が発達し、ヤナギ林や外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。三角州でも、セイタカアワダチソウが見られる。船場川流域では、計画地域全体に外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。大津茂川流域では、ツルヨシや外来種であるセイタカアワダチソウ等の高茎植物は下流域から継続的にみられる。

魚類については、瀬や淵のほかには堰の湛水域があり、瀬にはアユやオイカワ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ等が見られる。また、八家川流域では、メダカ*も確認されている。夢前川流域では、堰の湛水域では、イチモンジタナゴ*等が見られる。大津茂川水系では、緩やかな流れを好むコイ類、フナ類等が生息しており、湛水区間が多い大津茂川の状況が生息に適していると考えられるが、瀬や淵では、オイカワやヌマムツ等の生息も確認されている。また、オオクチバスやブルーギル、タイリクバラタナゴ、カムルチー等の外来種も確認されている。

底生動物については、中流域で見られるホンサナエ*等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。

鳥類については、カワウ、ヒヨドリ、ドバト、スズメ等が見られ、河道内には、コガモ、カルガモ、マガモ、サギ類等が多くみられる。また、船場川流域ではカワセミ*の飛翔も確認されている。

その他の動物としては、イシガメ、クサガメ、外来種のアカミミガメが広範囲で生息しているとともに、船場川流域では、スッポン*も確認されている。また、市川流域の河口に外来種である小動物のヌートリア、両生類のウシガエルが見られる。夢前川流域の下流から中流にかけてもヌートリアが見られる。

- ※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」
「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2010(植物・植物群落)」
「兵庫県の貴重な自然」兵庫県版レッドデータブック 2012〔昆虫類〕
「兵庫県の貴重な自然」兵庫県版レッドデータブック 2013〔鳥類〕

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

(5) 歴史・文化

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

市川流域の谷筋は、山陽・山陰をつなぐ交通路で、古くから但馬街道として利用されてきた。山陰との接点には、平安時代初期に開坑したと伝えられ、幕府が直轄で管理していた生野銀山が史跡として残っている。明治初頭には、生野銀山から飾磨港に至る市川沿いに、日本初の高速産業道路「銀の馬車道」が建設され、今日の南北物流の基盤を造った。また、朝来市生野町口銀谷地区の市川沿いには、かつての生野銀山の鉱石が運搬されたトロッコ道跡が残っている。また、神河町新野地区には、昭和30年代まで稼働していた水車が現存している。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

夢前川流域に書写に円教寺がある。円教寺は、康保3年(905年)に性空上人によって開かれ、多くの信仰を集めて参詣や僧侶の修行の道場として栄え、西の比叡山とも呼ばれる。現在も全国からの参詣者が多く、国指定重要文化財の建造物8棟、仏像8体が所有されている。また流域では、縄文、弥生、古墳時代等の遺跡が見つかっており、流域内には古くから人が暮らしていた様子が伺える。

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

西浜川流域、八家川流域の河口の干拓地、埋立地は、播磨で最初に製塩が行われたと伝えられている。江戸時代には入浜式塩田が広がり、昭和の時代まで続いたが、昭和40年に塩田はすべて廃田となった。大塩町は、昭和34年に、姫路市に合併されるまで印南郡大塩町（昭和初期大塩町）であったが、浜街道が大塩町を横断しており、道しるべもあったことから、浜街道における重要な一地点であったものと思われる。

夢前川流域では130年に姫路城藩主だった榊原忠次が夢前川の堤防工事を行った。それまで御立地先より今宿地先を経て英賀地先へ流れていた夢前川を、横関から青山に流す堤防工事を行い、それまで下流で起きていた災害を防止した。

船場川流域では、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多数発掘され、2,000年ほど昔から船場川の流れを利用したコメ作りが行われてきたことが知られている。また船場川の流れをらせん状の濠として利用することで、姫路城の守りを固めていた。江戸時代の船運の名残として、材木町に高瀬舟の避難場所でもあった船入川や、八代本町に船着き場跡が残っているほか、周辺には、船運の目標となった千代田公園の灯籠（常夜灯）や、高瀬舟を繋いだという龍野町の船繋ぎ石も残っている。

野田川流域には、播磨国総社、正法寺、正明寺、亀山本徳寺等の神社仏閣があり、流域近隣には国宝、国指定文化財、かつ世界文化遺産にも指定されている姫路城が存在する。

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

1□. 洪水被害の発生状況

計画地域では、昭和 38 年 □月、昭和 40 年 9 月、昭和 51 年 9 月、平成 2 年 9 月、平成 1□年 8 月、平成 1□年 10 月等、これまで何度も大きな洪水が発生してきた。姫路市では、昭和 40 年 9 月の台風 24 号により、浸水面積 4,000□、床上浸水 1,424 戸、床下浸水 15,0□3 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号により、浸水面積 3,253□、床上浸水 □891 戸、床下浸水 22,412 戸、平成 2 年 9 月の台風 19 号により、浸水面積 944□、床上浸水 1,14□戸、床下浸水 7,□7 戸の被害が発生した。

近年でも毎年続けて浸水被害が発生している。特に、平成 23 年 9 月の台風 12 号においては、浸水面積約 87□8□、床上浸水 454 戸、床下浸水 1,379 戸の被害が発生した。また、姫路市において、市川の水位上昇に伴い、3 日 18 時に、市内の約 4 万 2 千世帯、計約 10 万人に避難勧告が発令された。

平成 24 年 □月に発生した台風 4 号においても、夢前川や船場川で浸水が生じている。また、平成 25 年 9 月の集中豪雨においては、神河町（上越知）で時間雨量 85mm を記録し、市川の福崎観測所においては避難判断水位 5.20m を超過し、最高水位 5.40m を記録した。この豪雨で、福崎町では避難準備情報発令し避難所を開設した。計画地域では、河川、砂防施設、道路等 35 件の災害が発生した。



天川流域（高砂市曾根町付近）



天川流域（左岸：高砂市 山陽電車南側）

平成 2□年 □月 台風 12 号浸水状況写真



夢前川流域（姫路市 山富地区）



船場川流域（姫路市 生矢橋下流左岸）

平成 2□年 □月 台風 □号浸水状況写真



市川流域 越知川（神河町）



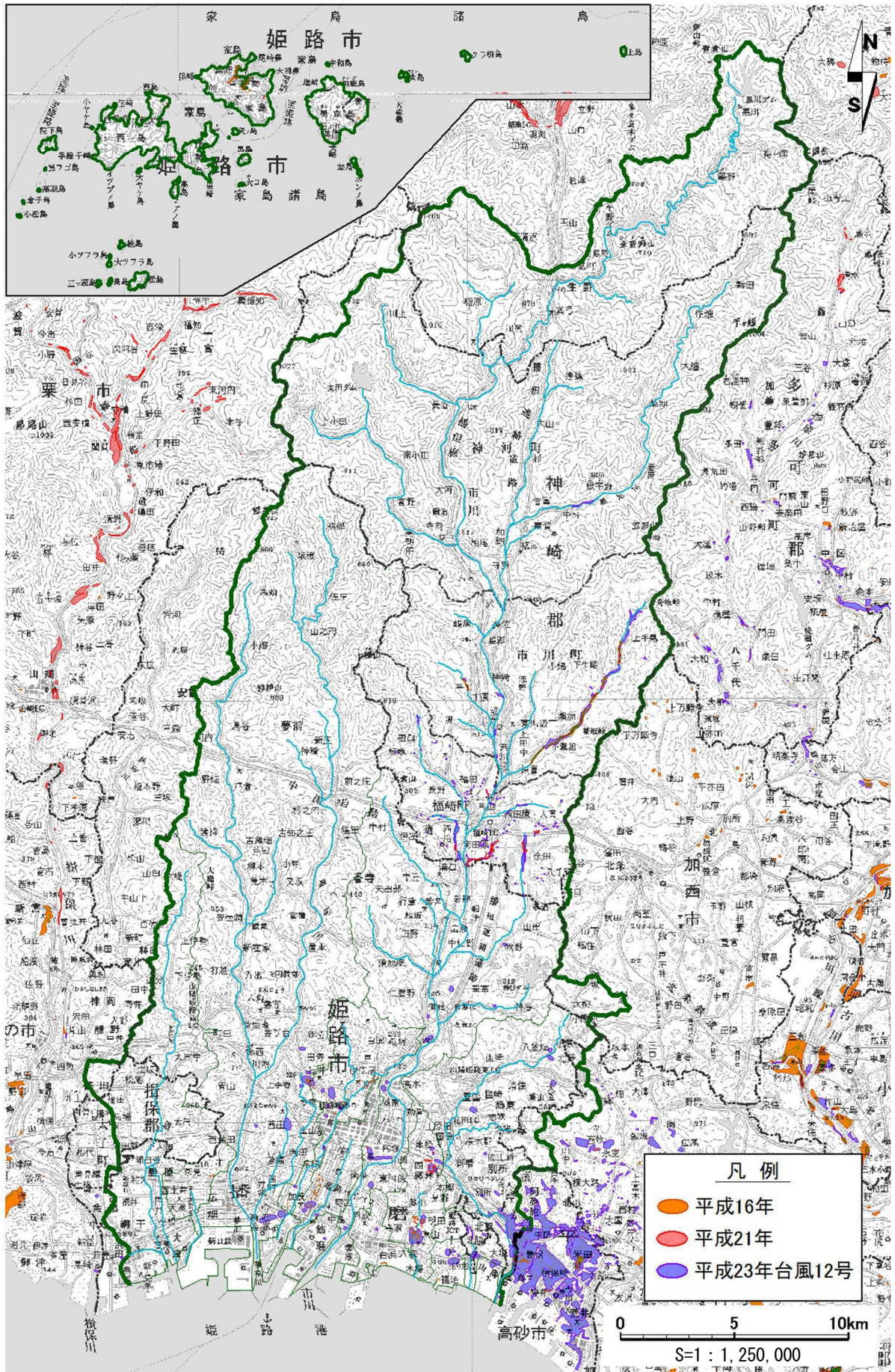
市川流域 越知川（神河町）

平成 25 年 □月 集中豪雨浸水状況写真

近年の洪水による被害発生状況（平成17年～平成20年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被災河川	水害区域面積 (㎡)			被害家屋棟数 (棟)					一般資産被害額 (千円)					
						宅地その他	農地	計	床下浸水	床上浸水	半壊	全壊流失	計						
H17年 合計						0	0	0	0	0	0	0	0	0					
H10	-	その他の異常気象	内水	夢前川	広畑配水路1号	0	0	0	17	0	0	0	0	17	15,101				
				合計		0	0	0	17	0	0	0	17	15,101					
				市川	犬見川	112	0	112	1	0	0	0	1	1,005					
H10	000705	梅雨前線豪雨	内水	八家川	八家川	1,000	0	1,000	5	0	0	0	5	2,000					
				合計		1,112	0	1,112	0	0	0	0	0	0					
				合計		5,02	0	5,02	2	0	0	0	2	1,070					
H18年 合計						5,02	0	5,02	2	0	0	0	2	1,070					
H10	-	その他の異常気象	内水	船場川	岡町川	0	0	0	1	0	0	0	1	0					
				野田川	船江川	7	0	7	0	0	0	0	0	7,210					
				合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0					
H19年 合計						0	0	0	0	0	0	0	0						
H20	-	その他の異常気象	内水	市川	西御着川	1	0	1	2	0	0	0	2	2,000					
				合計		1	0	1	2	0	0	0	2	2,000					
				市川	振古川	2,120	0	2,120	22	0	0	0	22	2,000					
H20	000005	豪雨	内水	合計		2,120	0	2,120	22	0	0	0	22	2,000					
				合計		2,02	0	2,02	2	0	0	0	2	2,000					
				合計		2,02	0	2,02	2	0	0	0	2	2,000					
H21	70700	梅雨前線豪雨	内水	市川	北条川	0	0	0	5	0	0	0	5	5,725					
				無堤部溢水	八家川	西御着川	0	0	0	1	0	0	0	1	0				
				内水	野田川	清水川	0	0	0	2	0	0	0	5	1,000				
				合計		1,050	0	1,050	0	0	0	11	2,070						
				合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0					
H21	700000	豪雨	内水	市川	北条川	0	0	0	1	0	0	0	5	7,700					
				無堤部溢水	八家川	西御着川	0	0	0	1	0	0	0	5	7,700				
				無堤部溢水	八家川	八家川	7	0	7	0	0	0	0	0	0				
H21	00001	台風9号	無堤部溢水	市川	小田原川	0	0	0	1	0	0	0	1	0					
				合計		0	0	0	1	0	0	0	1	0					
				合計		2,075	0	2,075	25	5	0	0	0	50,000					
H22	502025	豪雨	内水	市川	恒屋川	1	0	1	2	0	0	0	2	1,000					
				船場川	船場川	1	0	1	2	0	0	0	2	5,100					
				船場川	岡町川	2	0	2	0	0	0	0	0	2,000					
				内水	大津茂川	高田川	0	0	0	1	0	0	0	1	510				
				内水	大津茂川	西條東川	0	0	0	1	0	0	0	1	0				
				内水	八家川	西御着川	2	0	2	0	0	0	0	15,257					
				内水	夢前川	辻井川	1,000	0	1,000	10	0	0	0	10	1,000				
				内水	夢前川	青山出屋敷川	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
				内水	夢前川	青山川	1,000	0	1,000	10	1	0	0	10	0				
				合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
				H22年 合計						0	0	0	0	1	0	0	0	0	
H20	000000	台風12号及び豪雨	内水	市川	市川	22,000	0	22,000	0	27	5	0	10	21,070					
				無堤部溢水	市川	岡部川	1,010	15,000	177,700	15	15	0	0	0	0	2,070			
				無堤部溢水	市川	越智川	22,000	17,700	0	2	0	0	0	2	27,070				
				有堤部浸水	市川	阿保川・西阿保川	5,000	0	5,000	0	5	0	0	51	77,000				
				無堤部浸水	市川	神谷川	1,200	0	1,200	5	2	0	0	7	1,050				
				無堤部浸水	市川	河内川	0	0	10,700	1	0	0	0	1	1,000				
				内水	市川	養田川	1,000	0	1,000	15	0	0	0	1	21,000				
				無堤部浸水	市川	御舟川	0	0	0	1	0	0	0	0	11,700				
				内水	市川	中島東	1,000	0	1,000	10	0	0	0	10	1,000				
				無堤部浸水	市川	日原川	1,000	0	1,000	0	1	0	0	0	10,200				
				内水	市川	平田川	1,000	0	1,000	7	0	0	0	15	20,000				
				無堤部浸水	市川	無名河川	1,000	0	1,000	27	15	0	0	0	1,000				
				その他	市川	犬見川	2	0	2	0	1	0	0	1	520				
				その他	市川	小田原川	0	0	0	1	0	0	0	1	2,000				
				内水	西浜川	西浜川	15,250	0	15,250	2	1	0	0	0	7,000				
				内水	船場川	船場川	57	0	57	0	2	0	0	0	0				
				内水	〃	新在家南川・岡野川	0	0	0	25	7	0	0	0	0				
				内水	天川	天川	0	0	0	0	1	0	0	0	0				
				内水	〃	小原南川	0	0	0	2	2	0	0	0	7,010				
				内水	〃	大釜川	1,000	0	1,000	0	1	0	0	1	0				
				内水	〃	北山川	1,500	0	1,500	0	0	0	0	1	21,010				
				内水	〃	北宿川	5,000	0	5,000	0	22	0	0	57	0				
				内水	〃	北野川	0	0	0	7	0	0	0	7	0				
				内水	八家川	八家川	1,000	0	1,000	10	0	0	0	10	1,000				
				内水	〃	八家川・西御着川	1,152	0	1,152	5	7	0	0	12	21,500				
				内水	夢前川	夢前川	0	0	0	5	0	0	0	5	0				
				内水	〃	御立川	2	0	2	1	2	0	0	0	0				
				内水	〃	今在家排水路	0	0	0	7	2	0	0	10	122,000				
				内水	〃	今在家排水路1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
				内水	〃	水尾川	57	0	57	0	2	0	0	0	0				
				内水	〃	大井川	0	0	0	0	0	0	0	0	11,000				
				内水	〃	辻井川	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
				内水	野田川	船江川	1,000	0	1,000	10	2	0	0	20	2,000				
				合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
				H20	00500	台風15号及び豪雨	内水	市川	阿成川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
								内水	市川	阿保川	1,000	0	1,000	0	0	0	0	12	0
								内水	市川	表麻川	1,500	0	1,500	0	5	0	0	0	0
								内水	八家川	八家川	2,010	0	2,010	10	0	0	0	1	0
								内水	八家川	宇佐崎排水路C号	57	0	57	5	1	0	0	0	0
								内水	八家川	八家川・西御着川	1,000	0	1,000	0	7	0	0	11	2,000
				合計		7,770	0	7,770	0	20	0	0	55	15,000					
				H20年 合計						0	0	0	1	0	5	0	1	0	

出典：水害統計



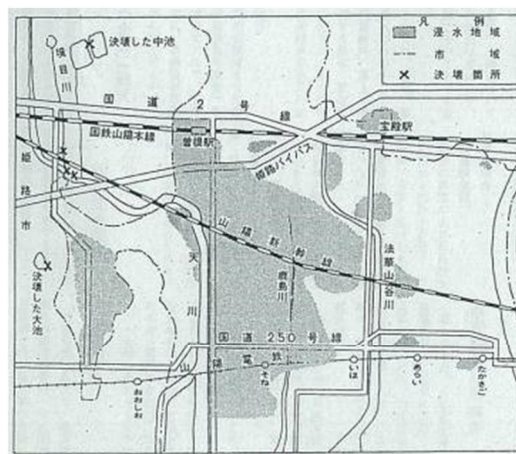
出典：兵庫県HP

近年の洪水被害による実績浸水区域図

【天川水系】

昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、天川左岸 2 カ所の決壊、天川へ流れ込む境目川の氾濫、中池の決壊等によって膨大な量の水が天川の左岸沿いに南下し、曾根駅の周辺や曾根町や伊保町等で大きな被害が発生した。

近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、高砂市の天川流域に係る市街地で床上浸水家屋 218 棟、床下浸水家屋 1,173 棟という、大きな被害が発生した。これは、台風による集中豪雨と満潮が重なった影響による。



昭和 51 年 9 月の台風 17 号の
浸水による被災地域

出典：高砂市市政だより 災害特集号

昭和 51 年 9 月の台風 17 号の被害状況

	家屋 全壊	家屋 半壊	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
高砂町	0	1	□	□	□□
荒井町	0	0	1	1□	500
伊保町	0	0	1□	70□	□07□
曾根町	1	0	□□	5□	5,7□
米田町	0	0	1	22	□
阿弥陀町	0	0	□□	155	1,□□
北浜町	0	1	1□□	□□	1,□□□
計	1	2	1,5□□	2,02□	1□52□

出典：高砂市市政だより 災害特集号

平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害状況

地区名※	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
阿弥陀地区	100	□□	□□
北浜地区	0	2	2
中筋地区	22	1□□	1□□
曾根地区	□□	55□	71□
合計	21□	1,17□	1,□□

※天川流域に係る地区のみを抽出

出典：平成 23 年台風 12 号による災害対応検証報告書
高砂市平成 23 年台風 12 号災害対応検証委員会

【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年 9 月洪水で流域の大部分が浸水した。近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、浸水面積 1.5□、浸水家屋 3 棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

洪水年月日	異常気象名	浸水面積 (□)			浸水家屋 (棟)			備考
		宅地 その他	農地	合計	床下 浸水	床上 浸水	合計	
H2□□□□□□~□□	台風 12 号及び豪雨	15, 25□	0	15, 25□	2	1	□	

【八家川水系】

八家川流域では、埋め立てられた低平地を中心に地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすい。

昭和40年9月の洪水では、床上浸水70戸、床下浸水200戸、浸水面積101□□の被害が発生した。また、平成2年9月の洪水では床上浸水92戸、床下浸水29□戸、浸水面積140□□の被害が発生した。

近年では、平成1□年8月の台風1□号により、床上浸水32戸、床下浸水1□9戸、浸水面積12.7□□の被害が発生した。その他、平成1□年9月の台風18号により、床上浸水1戸、床下浸水28戸、台風21号により床下浸水3戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 □□□□	浸水家屋□棟□			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S□□□□0~15	台風2□号	101□	70	200	270	
H2□□□7~20	台風1□号	1□□□	□	2□□	□□□	
H1□□□□0~□	台風1□号	12□	□	1□□	201	
H1□□□□7	台風1□号	2□	1	2□	2□	
H1□□□□2□~□	台風21号	—	0	□	□	

出典：八家川水系河川整備基本方針



東山地区：糸引橋西側



平成1□年□月台風1□号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



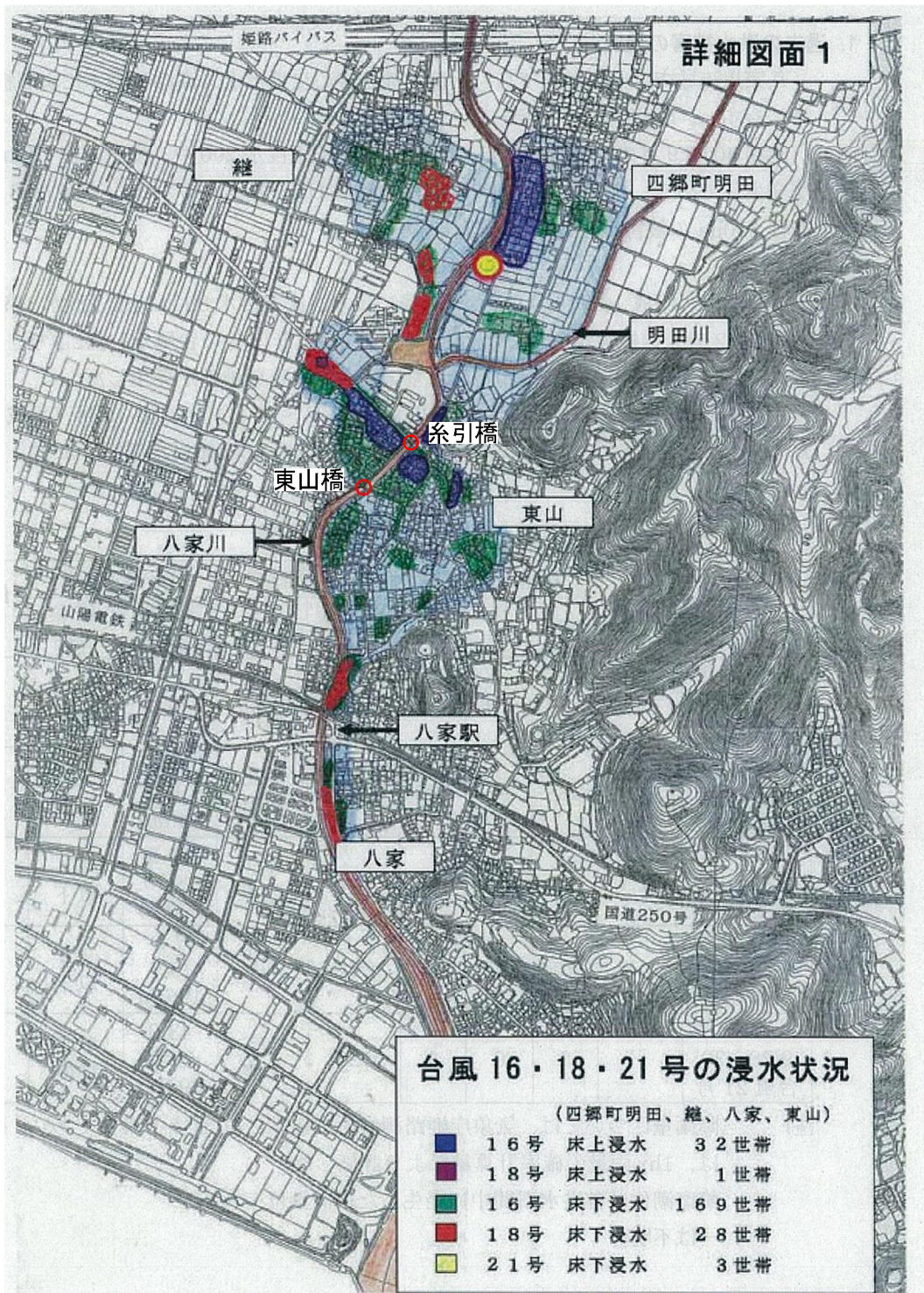
③八家川糸引橋上流 H16.9.7



②八家川東山橋下流 H16.9.7

平成1□年□月台風1□号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



台風 16 号 : H16.8/30~31、台風 18 号 : H16.9/7、台風 21 号 : H16.9/28~30

出典 : 姫路市

実績浸水区域図

【市川水系】

市川水系で大きな被害を起こした洪水は、昭和13年7月洪水、昭和38年□月洪水、昭和40年9月洪水、平成2年9月洪水である。

阪神大水害を起こした昭和13年7月では、市川の濁流によって山陽電鉄妻鹿鉄橋が水没・湾曲した。昭和38年□月洪水では、市川の堤防が決壊し、浸水面積3,020□、浸水家屋2,179棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 □□□□	浸水家屋□棟□			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S1□□	集中豪雨	—	—	—	—	山陽電鉄妻鹿鉄橋が市川の濁流によって水没・湾曲
S□□□□	梅雨前線	□020	□□	1,□□□	2,17□	市川堤防決壊、山陽電鉄軌道敷水没
S□□□□	台風20号	10	—	—	□□	
S□□□□	台風2□2□号	5□	—	—	□□□	
S51□□	台風17号	—	—	—	□2	
H2□□	台風1□号	□0	100	1,07□	1,17□	
H1□□□□	台風1□号	0□□	—	—	0	
H1□□□0	台風2□号	0□5	—	—	2	

注) 浸水面積、浸水家屋数、『水害統計』(国土交通省河川局)による。

出典：市川水系河川整備計画



昭和□年□月の浸水状況【姫路市妻鹿地区】

出典：昭和のあゆみ 妻鹿

【野田川水系】

野田川水系周辺は、平坦な地形に加え、特に、下流部では地盤が低いため、水はけが悪く、洪水や高潮による被害を受けやすい。昭和20年代、30年代には毎年のように浸水被害を受けたが、近年では、大きな洪水被害が発生していない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 □□□□	浸水家屋□棟□			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S2□□□□	ケイト台風	1,502	17	2,□□□	2,50□	家屋全壊5戸、田畑流出□□□□ 小舟流出5隻
S2□□□□5	ルース台風	—	—	—	—	負傷者1名、家屋全壊17戸、家屋半壊2□□、橋の被害2件
S27□□□	梅雨	—	—	1,0□□	1,0□	堤防決壊11件、道路崩落□件、山崩れ崖崩れ□件
S2□□□□7	台風2号	7□□□	1□	2,□□□	2,□□7	堤防決壊□件、橋の流出□件、小舟流出5隻
S2□□□□2□	台風15号	□□0	□□	1□	2□□	死者1名、負傷者5名、家屋全壊1□□、堤防決壊2□件
S□□□□□2□	伊勢湾台風	—	□	—	□	家屋全壊□□、家屋半壊1□□、家屋浸水20戸（非住家）
S□3□□□2□	台風1□号	—	□	□□0	□□□	家屋全壊□□、家屋半壊2□□、道路決壊2カ所、堤防決壊□カ所
S□□□□□□□	第二室戸台風	20□	□2	1,7□□□	1,□5	堤防決壊5カ所、溢水□カ所、崖崩れ2カ所
S□□□□□□□	梅雨	—	□□0	1,115	1,515	家屋倒壊1戸、家屋半壊□□、土砂流入□□
S□□□□□□0	台風2□号	520	72□	1,□□□	2,□□□	死者□名、重傷者1□名、家屋全壊2□□、家屋半壊□□□、堤防決壊□□カ所、道路損壊17カ所、橋の流出2件
S□□□□□□□ □□7	台風2□号	□□□	1,□2□	15,0□□	1□□□	死者2名、行方不明者1名、家屋全壊流出11戸、家屋半壊2□□、ため池決壊7カ所、崖崩れ□□カ所、河川欠損1□カ所
S□□□□□□	台風□号	700	5□	1,2□□	1,□2	橋流出1件、堤防決壊1カ所、山・崖崩れ□カ所
S51□□□□□ □□□	台風17号	□25□	□□□	22,□2	2□□□	死者□名、負傷者□名、家屋全壊7戸、家屋半壊□□□、橋流出12件、道路決壊12□カ所、山・崖崩れ2□□カ所
S57□□□□□	台風10号	—	□□□	2,□□	2,7□3	崖崩れ□カ所、堤防溢水2カ所
S5□□□□□27	台風10号	—	—	207	207	山崩れ1カ所、堤防溢水1カ所
S□2□□0□□7	台風1□号	700	5□	1,25□	1,□2	橋流出1件、堤防決壊1カ所、山・崖崩れ□カ所
H2□□□□2~ □□20	梅雨前線・ 台風1□号	□□□	1,1□□	7,□□	□□□	死者1名、家屋半壊□□、橋流出等□□件、堤防浸食等□□カ所、山・崖崩れ□□カ所、道路決壊115カ所
H□□□□□27	台風1□号	—	—	1□	1□	家屋破壊21戸、停電戸数□□□000戸、電話不通5,000戸

注)：浸水面積、浸水家屋は姫路市全域での値を記載

【船場川水系】

船場川流域は、市川の氾濫原であり、地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすく、昭和51年9月の台風17号、平成2年9月の台風19号等では浸水被害が発生した。近年では平成10年10月の台風23号により浸水面積約30㌧、浸水家屋179戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 ㌧	浸水家屋棟数			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S000000	梅雨前線	—	00	1,115	1,515	
S000000	台風2号	520	72	1,000	2,000	
S000000	台風2号	000	1,00	15,000	10000	
S510000	台風17号	025	000	22,002	20000	
S000000	台風1号	700	5	1,200	1,000	
H200000	台風1号	000	1,100	7,000	000	
H100000	台風2号	0	12	10	170	

注)：浸水戸数・面積は姫路市全域での値を記載

㌧)：船場川流域のみ浸水が発生したため、浸水戸数、面積は船場川流域のみの値である

出典：船場川水系河川整備計画



伊伝居橋から下流を望む



左岸下流から伊伝居橋を望む

出典：自治会提供資料

平成20年屈曲部からの越水状況



出典：船場川水系河川整備計画
平成10年10月台風20号による実績浸水区域図

【夢前川水系】

夢前川流域で大きな被害を起こした洪水は昭和40年洪水、昭和51年洪水である。

夢前川の流域は、昭和40年9月の台風24号では浸水面積1,823ha、浸水家屋1,341戸、昭和51年9月の台風17号では、浸水面積720ha、浸水家屋1,575戸の被害が発生した。また、平成に入ってから、平成2年9月の台風19号による出水で、浸水面積121ha、浸水家屋2,454戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積(ha)			浸水家屋(棟)			備考
		農地	宅地 その他	計	床上 浸水	床下 浸水	計	
S190920	台風1号	20		20	50	2	55	
S400915	台風2号	1,500	20	1,520	511	1,200	1,711	
S510910	台風17号	2	0	720	5,700	0	5,700	
S550820	豪雨	0	0	0	01	12	13	
S2000510	台風1号	0	0	0	17	1	18	
H20001120	台風1号	7	114	121	2,350	0	2,350	
H0000720	台風11号	0	0	0	0	0	0	
H0702520	台風C号	0	17	17	0	2	2	
H10000322	台風2号	0	0	0	0	2	2	

出典：水害統計

【汐入川水系】

汐入川流域では、近年大きな洪水被害が発生していない。

【大津茂川水系】

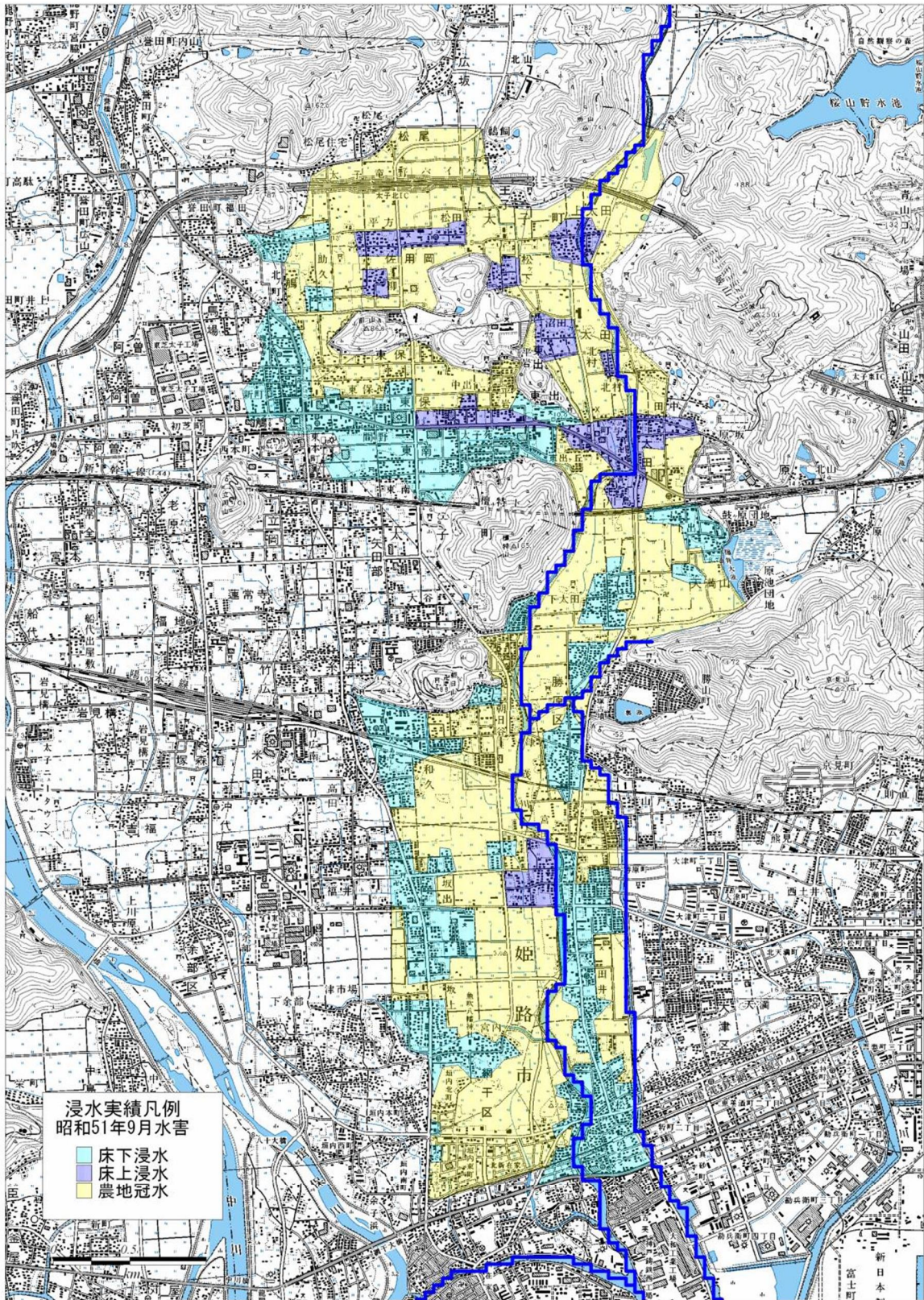
大津茂川水系で被害の大きかった洪水被害は、昭和49年7月の台風8号、昭和51年9月の台風17号の2洪水である。

上記洪水を契機に進められてきた河川改修の効果により、最近では目立った被害はほとんど見られない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積(ha)			浸水家屋(棟)			備考
		田	畑	計	床上浸水	床下浸水	計	
S490710	台風2号	170	10	180	100	55	155	
S70000	熱帯低気圧	0	5	5	30	1,510	1,540	
S00070	台風C号	250	227	477	271	2,000	2,271	
S510910	台風17号	30	10	40	1,055	1,500	2,555	

出典：大津茂川激甚災害対策特別緊急事業全体計画調書



※当時の宮田地点、^{よろ}丁地点は不明であるため、宮田橋と^{よろ}丁大橋を示した。

出典：大津茂川水系大津茂川浸水想定区域図作成業務報告書（平成17年度）

昭和51年□月洪水による実績浸水区域図